

## 祝辞

著者	相賀 一郎
引用	社会問題研究. 2001, 51(1・2), p.4-4
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/6865">http://hdl.handle.net/10466/6865</a>

# 祝 辞

大阪府立大学名誉教授・学長 相 賀 一 郎

社会福祉学部の創立20周年と大学院設置10周年を迎えるにあたり、全学を代表してお祝い申し上げます。1981年4月に時代の要請と社会のニーズに応え、大阪府は本学に国公立大学として最初の社会福祉学部を設置しましたが、それ以降20年間、学部および大学院研究科では、わが国社会福祉学界の牽引車になるべく努力を重ねられ、着実に成果を上げてこられました。1998年3月には、課程博士（社会福祉学）号が3名に授与され、大学院社会福祉学研究科が名実ともに完成しました。1999年4月には、重度の障害者を対象とする障害者特別選抜入試制度による最初の学生が入学したことも特記すべきことです。

卒業生は1000名を越し、彼等は、国・地方公共団体の福祉職員・保育士として、社会福祉団体設置の専門職員として、医療・保健等の専門職員として、あるいは大学教員等として活躍されています。

また、国際交流を重視され、大学間交流、在外研究員友好事業および留学生の受入れ等についての実績も顕著です。

創立20周年を迎えられたいま、21世紀への更なる飛躍をめざして、社会福祉の新しい課題を整理し、時代の要請にバランスしたパラダイムを模索し、専門分野の学問体系の確立に努力を重ねられ、グローバルに貢献する社会福祉総合研究のメッカとして充実されますことを祈念し、お祝いの言葉とします。